



むかい

学校教育目標

- ・かしこく
- ・やさしく
- ・たくましく
- ・なかよく

復旧、復興

校長 川添 倫義

1月1日午後4時10分ごろ石川県志賀町で震度7の地震があり、建物の倒壊や火災、津波等により、多くの命が奪われ、震災に係るケガや病気など、甚大な被害が発生しました。長い年月をかけてつくりあげた財産を失った人々の気持ちはどれほどのものだったのでしょうか。希望を失い、絶望感に襲われたことと思います。被災された方へのお見舞いを申し上げるとともに、復旧、復興を心からお祈りいたします。

今回の地震で、1995年の阪神・淡路大地震で聞いた、被災された人々に復旧、復興の意欲を起こさせ励ましてくれたボランティアの方々の活動の話を思い出しました。

家を失い、小学校に避難した中学1年生の男子児童の言葉です。

「同級生が一人亡くなった。僕は今、ボランティアの人に助けられている。本当にありがたい。学校で『助け合い』とか『命を大切に』と言われても、ピンとこなかったけれど、今は違う。『生きていることはありがたい』と伝えたい。」

学校に避難されていた年配の方が、次のようにおっしゃっていました。

「横浜からきたマッサージの方に足をもんでもらいました。みんな『お水どうぞ』って優しいです。避難所の体育館をきれいに掃除してくれたり、洗濯をしてくれたりする若い人たちを見直しました。トイレに花を飾ってくれるという小さなところまで気遣いができることに感心します。」

多くの人々が被災地を走り回り、避難生活を支え、温かい声をかける。被災されている人々の心にどれほどの意欲と勇気をもたらしたのでしょうか。

今回の能登半島の地震でも、汗しながら自分の体と心を直接人々のために働かせたという事例をたくさんお聞きします。